

平成22年度 アンケート結果報告

§ 1. 平成 22 年度 アンケート実施について

i) アンケート実施目的

- ①全国大会の改善に関するアンケート
 - ・次年度の全国大会運営にあたっての要望事項の整理
 - ・運用面での改善事項の方向性
- ②第IV部門におけるセッション「鉄道工学」に関するアンケート
 - ・鉄道工学セッションのプログラム編成に関する意見収集

ii) アンケート実施方法

配布数：全国大会の改善に関するアンケート 5,500 部
第IV部門におけるセッション「鉄道工学」に関するアンケート 500 部
配布方法：当日配布
回収方法：回収箱及びFAXによる回収

iii) アンケート内容

- ①全国大会の改善に関するアンケート
 1. 属性
 - 1-1 年齢
 - 1-2 性別
 - 1-3 会員種別
 - 1-4 講演・聴講
 - 1-5 職業（学校関連、公務員、独立行政法人、公益法人、民間企業、学生、その他）
 - 1-6 居住都道府県名
 2. 参加した行事に関する満足度
 - 2-1 参加した行事に関する満足度
 - 2-2 不満足に感じる点、改善が必要である点（自由記述）
 - 2-3 学術講演会（共通セッション）への意見（自由記述）
 3. 電子申込みについて
 - 3-1 申込みのWEBシステム（講演申込用、聴講申込用）の使いやすさ
 - 3-2 講演申込みと聴講申込みの時期およびシステムの違いによる使いやすさ
 - 3-3 登録料のコンビニ支払いについて
 - 3-4 使いづらさを感じる点、改善が必要である点（自由記述）
 4. 概要集について
 - 4-1 DVD版への変更に伴う意見（自由記述）
 - 4-2 HPからのダウンロード方式への変更について（自由記述）
 5. 一時保育サービスについて
 - 5-1 一時保育サービスの認知度
 - 5-2 一時保育サービスへの意見（自由記述）
 6. 交流会会場について
 - ・交流会会場に関する満足度
 7. その他
 - ・大会の運営や行事内容に対して改善点・要望等（自由記述）
- ②第IV部門におけるセッション「鉄道工学」に関するアンケート

1. 属性
 - 1-1 所属
 - 1-2 参加頻度
2. 聴講した学術講演会のセッションについて
 - 2-1 第4部門で聴講したセッション
 - 2-2 第4部門以外に聴講したセッション
3. 発表した学術講演会のセッションについて
 - ・発表したセッションについて
4. 第4部門について
 - ・計画分野のセッションが中心である第4部門の分野構成について（自由記述）
5. 第4部門におけるセッション「鉄道工学」について
 - 5-1 他部門に移すことに関する賛否
 - 5-2 他部門に移すことに関する賛否の理由（自由記述）
 - 5-3 他部門に移すことに関するメリット、デメリットの把握（自由記述）
 - 5-4 複数部門に分散された場合の全国大会での発表及び参加について
 - 5-5 設問5-4で回答した理由（自由記述）
6. その他
 - ・第4部門におけるセッション「鉄道工学」のあり方についての意見

iii) アンケート回収状況

①全国大会の改善に関するアンケート

- | | | |
|--------------|--------------------------------|--------------|
| (1)アンケート回収数 | : 291人 | (H21年: 290人) |
| (2)アンケート回収率 | : 5.3% | (H20年: 5.4%) |
| (3)アンケート回収方法 | : 回収箱による回答者 276人、FAXによる回答者 15人 | |

②第IV部門におけるセッション「鉄道工学」に関するアンケート

- | | |
|--------------|------------------------------|
| (1)アンケート回収数 | : 65人 |
| (2)アンケート回収率 | : 13.0% |
| (3)アンケート回収方法 | : 回収箱による回答者 65人、FAXによる回答者 0人 |

<参考>

全国大会参加者数：講演者 3,645人、聴講者（座長含む） 1,991人、合計 5,636人

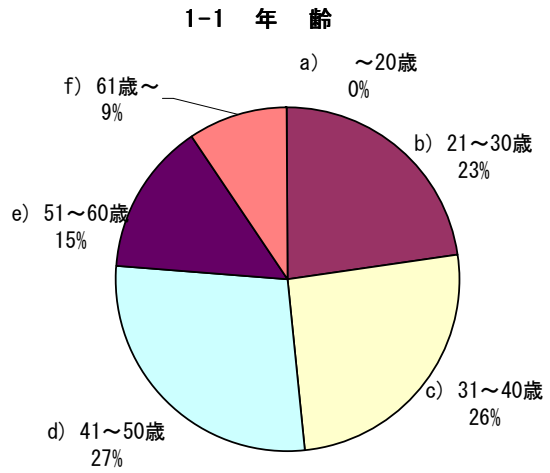
§ 3. 全国大会アンケートの分析（詳細版）

1. あなたのことについてお聞きします

1-1 年 齢 （有効回答人数：289）

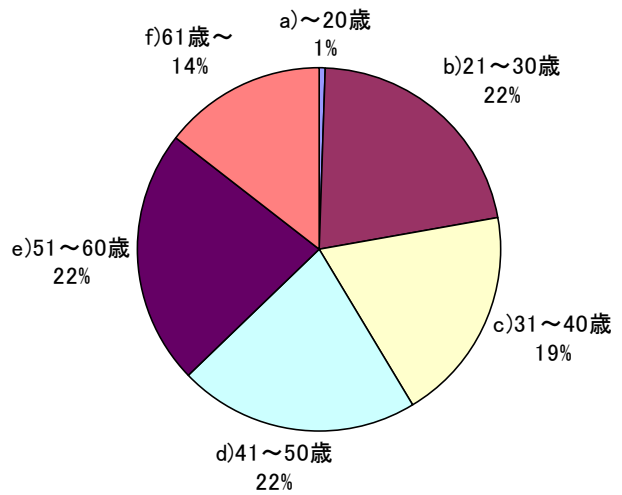
- a) ~20歳 (0)
- b) 21~30歳 (66)
- c) 31~40歳 (74)
- d) 41~50歳 (80)
- e) 51~60歳 (42)
- f) 61歳~ (27)

土木学会員の年齢構成に
比べ、30~50歳のアンケート
回答者の比率が多い



[参考：土木学会員の年齢構成]

年齢	人数(人)	比率
a)~20歳	245	0.7%
b)21~30歳	7,701	21.5%
c)31~40歳	6,823	19.1%
d)41~50歳	7,719	21.6%
e)51~60歳	8,154	22.8%
f)61歳~	5,149	14.4%
合計	35,791	100.0%

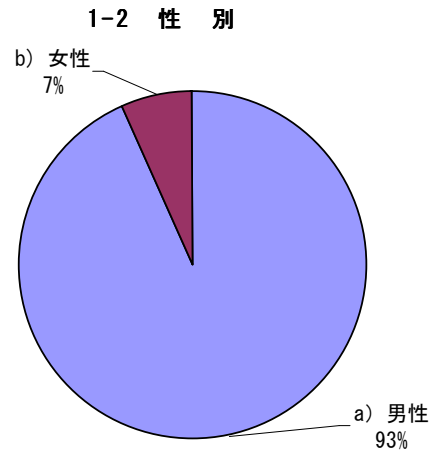


出典：2010年土木学会調べ

1-2 性別 (有効回答人数: 289)

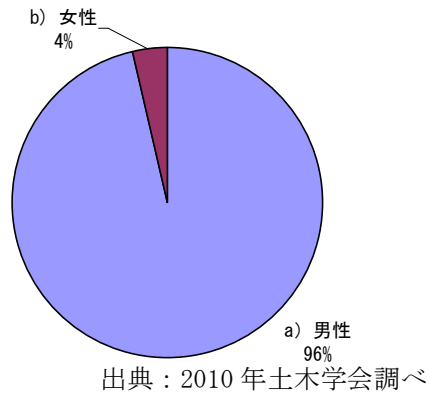
- a) 男性 (270)
- b) 女性 (19)

土木学会員の割合に比べ、アンケート回答者に占める女性の比率が高く協力的である。



[参考: 土木学会員の性別]

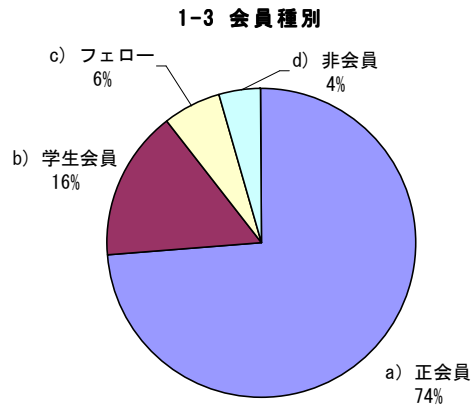
種別	男性(人)	女性(人)	比率
正会員	27,917	778	2.7%
フェロー会員	2,216	4	0.2%
学生会員	4,331	545	11.2%
合計	34,464	1,327	3.7%



1-3 会員種別 (有効回答人数: 291)

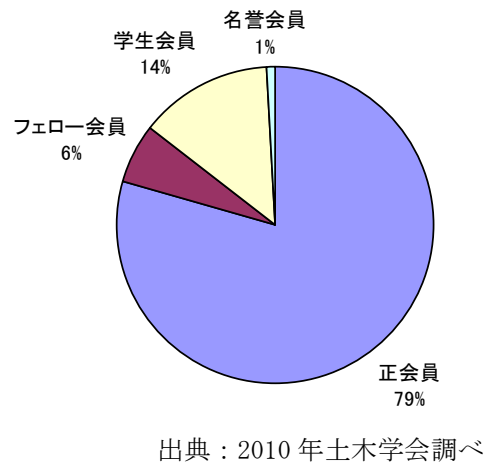
- a) 正会員 (214)
- b) 学生会員 (46)
- c) フェロー (18)
- d) 非会員 (13)

学生会員のアンケート回答比率は、土木学会全体の会員比率よりも若干高い。



[参考: 土木学会の会員種別]

種別	人数(人)	比率
正会員	28,404	79.4%
フェロー会員	2,220	6.2%
学生会員	4,876	13.6%
名誉会員	291	0.8%
合計	35,791	100%

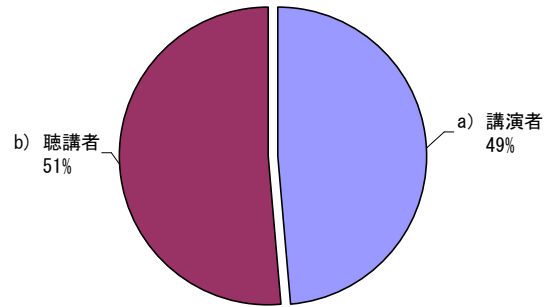


1-4 講演・聴講 (有効回答人数：259)

- a) 講演者 (126)
- b) 聴講者 (133)

講演者は全体参加者の約 65%を占めるが、アンケート回答比率では約半分である

1-4 講演・聴講



[参考：講演者の割合]

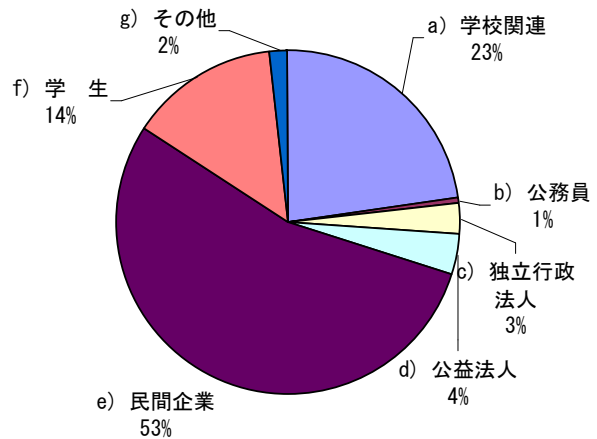
全参加者数に対する講演者の割合 (実績値)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
参加者受付数(人)	5,849	5,674	5,258	5,145	5,257	5,397	5,636
講演者数(人)	3,672	3,272	3,164	3,217	3,151	3,308	3,645
講演者割合	63%	58%	60%	63%	60%	61%	65%

1-5 職業 (有効回答人数：291)

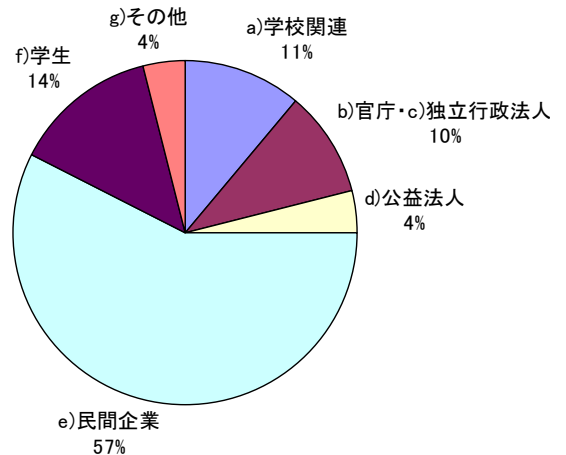
- a) 学校関連 (66)
- b) 公務員 (2)
- c) 独立行政法人 (8)
- d) 公益法人 (11)
- e) 民間企業 (158)
- f) 学生 (41)
- g) その他 (5)

土木学会員全体の職業構成に比べ、学校関係者のアンケート回答比率が高い



[参考：土木学会員の職業]

職業	人数(人)	割合
a)学校関連	4,006	11.2%
b)官庁・c)独立行政法人	3,502	9.8%
d)公益法人	1,486	4.2%
e)民間企業	20,544	57.4%
f)学生	4,876	13.6%
g)その他	1,377	3.8%
合計	35,791	100%

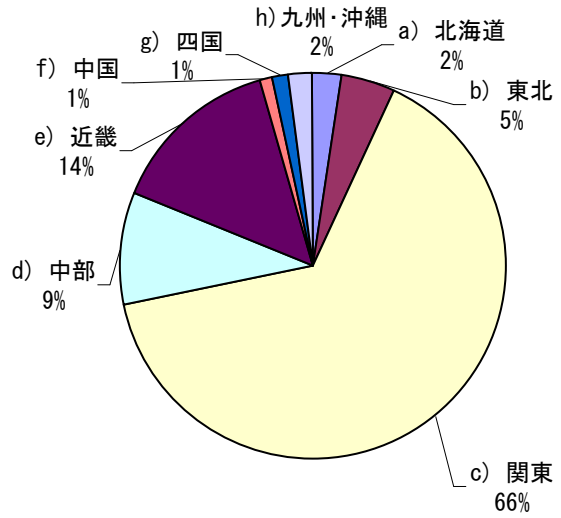


出典：2010年土木学会調べ

1-6 居住地域 (有効回答人数 : 243)

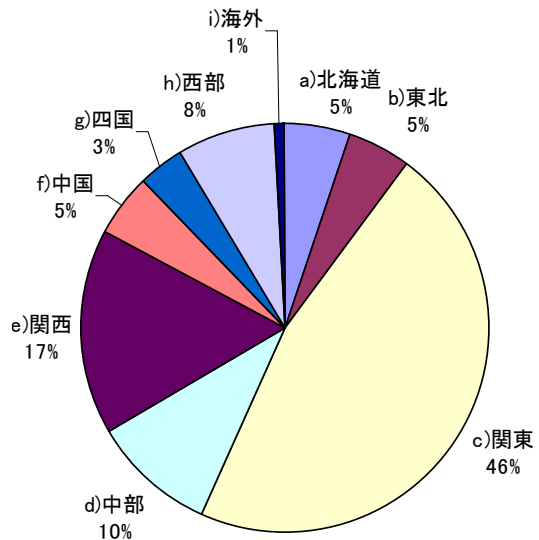
- a) 北海道 (6)
- b) 東北 (11)
- c) 関東 (157)
- d) 中部 (23)
- e) 近畿 (35)
- f) 中国 (3)
- g) 四国 (3)
- h) 九州・沖縄 (5)

アンケート回答者の居住区域として関東の占める割合が高い。北海道開催が影響していると思われる。



[参考 : 土木学会員の居住地域]

支部	人数(人)	比率
a)北海道	1,861	5.2%
b)東北	1,826	5.1%
c)関東	16,554	46.3%
d)中部	3,473	9.7%
e)関西	5,928	16.6%
f)中国	1,786	5.0%
g)四国	1,245	3.5%
h)西部	2,839	7.9%
i)海外	279	0.8%
合計	35,791	100%



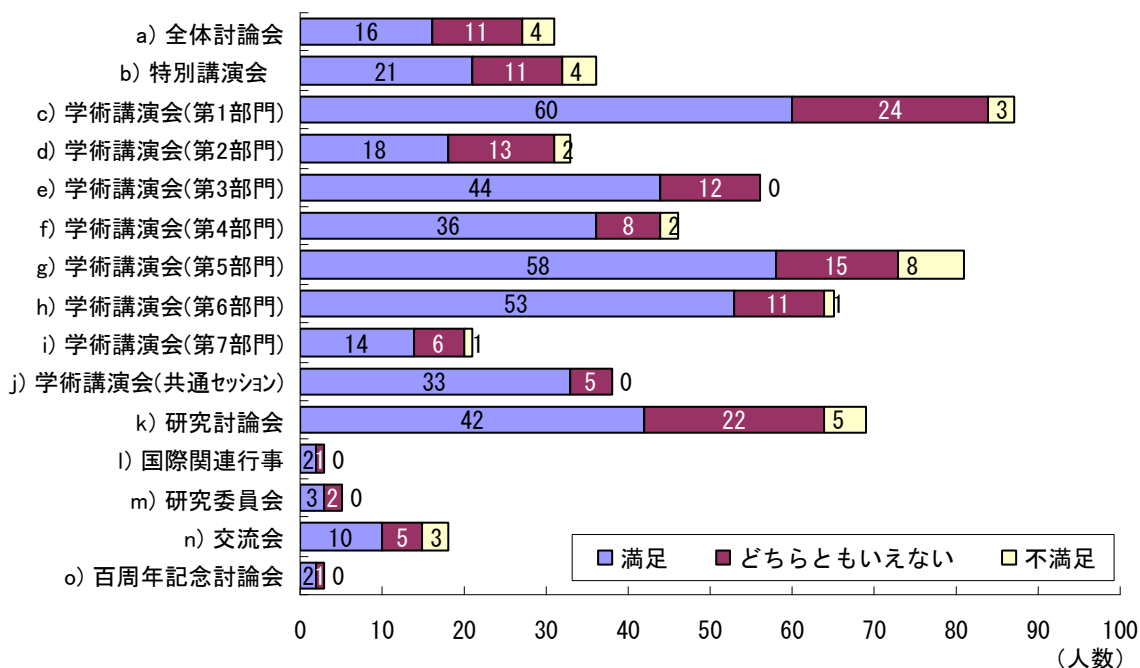
出典 : 2010 年土木学会調べ

2. 参加した行事についてお聞きします

2-1 今回参加した行事について該当する感想に○をつけて下さい。(複数回答可) (有効回答人数：287)

「満足」の占める割合が60%未満のセクションは、全体討論会、特別討論会、学術講演会(第2部門)、交流会である。

2-1 今回参加した行事について該当する感想に○をつけてください。



	満足		どちらともいえない		不満足		総数 人数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
a) 全体討論会	16	52%	11	35%	4	13%	31
b) 特別講演会	21	58%	11	31%	4	11%	36
c) 学術講演会(第1部門)	60	69%	24	28%	3	3%	87
d) 学術講演会(第2部門)	18	55%	13	39%	2	6%	33
e) 学術講演会(第3部門)	44	79%	12	21%	0	0%	56
f) 学術講演会(第4部門)	36	78%	8	17%	2	4%	46
g) 学術講演会(第5部門)	58	72%	15	19%	8	10%	81
h) 学術講演会(第6部門)	53	82%	11	17%	1	2%	65
i) 学術講演会(第7部門)	14	67%	6	29%	1	5%	21
j) 学術講演会(共通セッション)	33	87%	5	13%	0	0%	38
k) 研究討論会	42	61%	22	32%	5	7%	69
l) 国際関連行事	2	67%	1	33%	0	0%	3
m) 研究委員会	3	60%	2	40%	0	0%	5
n) 交流会	10	56%	5	28%	3	17%	18
o) 百周年記念討論会	2	67%	1	33%	0	0%	3
p) その他()	0	0%	7	88%	1	13%	8

2-2 設問 2-1 で「不満足」と回答された方にお聞きします。不満足に感じる点、改善が必要である点を記入ください

【施設】

- ・ 北大に開催であるが、日中暑く空調のない部屋が多かった。そのような部屋は苦痛であった。
- ・ 会場がいっぱいであり座れなかった(講演会前のパイプイオルガンが影響しているかもしれないが?)
- ・ 空調の不備
- ・ 冷房なしでの講演は不評
- ・ スライドの光量、解像度が悪かった
- ・ 会場がわかりにくい、看板等、会場の暑さ
- ・ 部屋が暑かったです
- ・ 冷房の完備が必要
- ・ 放射性廃棄物処分の研究討論会の会場が、狭く入りきれなかった
- ・ 教室が暑くて集中しづらかった。外の方が涼しい
- ・ 会場が暑くて講演内容に集中できなかった。休憩室が会場から遠い。ドリンクサービスを充実させて欲しい
- ・ 残暑なので仕方ないのだが、部屋にエアコンが無かったので非常に暑かった
- ・ クーラーがない
- ・ 遠い。座れなかった

【内容】

- ・ 意見交換が少なく、生の声が聴こえてこなかった感じがしました。
- ・ 司会は大きな声で(特に女性)
- ・ 今回の進め方で良いと思います。
- ・ 内容は満足です。ただし、会場内にエアコンがなく、2 時間地獄の暑さでした。熱中症になる人がいると思うのですが・・・
- ・ レベルの低すぎる発表(根拠のない論理や内容、誤った解釈、商品宣伝)がある。審査の導入を検討されてはどうか?
- ・ 新しい情報が何も得られなかった。異業種の方にそれぞれの業種の苦勞をしゃべってもらっても土木の参考にならなかった
- ・ 入札・契約・調達に関する討議は、パネリスト・講演者共に現状認識が甘すぎ、上滑りになって現実的でなかった。

【運営】

◆ 学術講演会の発表時間に関する意見

- ・ 時間が少なく十分な発表を聞くことが出来ない点が不満です。仕方ないかもしれませんが。
- ・ 発表時間短い
- ・ 公演時間 7 分は短い
- ・ 発表時間、質疑の時間が短い
- ・ 件数が多過ぎる。完成度・社会貢献を念頭に査読システムをつくりセレクトして良い。

◆ セッションの組み方に関する意見

- ・ 希望したセッションに参加出来なかった。
- ・ 聴講したいものが重なりすぎ。テーマの軸を見直したほうがよい
- ・ セッションの分け方。関連の高いテーマが同一セッションにならんでいることが多い。
- ・ 類似した内容がまとまっていなかった。個人的には聴講したい内容が別会場で同一時間帯にあったのが残念だった。

【講演会、討論会】

- ・ 特別講演会、全体討論会の会場は少し容量(座席数)不足であった。
- ・ 全体討論会の企画が不十分。
- ・ パネリストの専門分野がバラバラ。意見にまとまりが無かった
- ・ 興味を引く討論会テーマが少なかった
- ・ 全体討論会は時間が短かったです。時間の割りにパネリストが多く議論にまとまりが無かったのが残念です

【交流会】

- ・ 着席であったため周囲の人とのみしか話ができず、交流会の目的である多くの人との交流がほとんどできなかった。
- ・ 着席の交流会は良くない。

2-3 「学術講演会（共通セッション）」に参加された方にお聞きします。内容、プログラム編成について意見を聞かせください。

【施設】

- ・ 声が小さい人がおり、全然聞こえない。マイクを用意したほうが良いと思う。
- ・ ベル音(鈴)がわかりにくい
- ・ ベルが電子音のため聞き取りにくかった
- ・ V部門はエアコンが効いてなく発表に集中できなかった
- ・ PC 環境をもう少しいいものを使用すればスムーズに行えると思う

【内容】

- ・ それぞれの内容共に充実していて良かったと思います。
- ・ 十分
- ・ 短い時間での発表で内容を計測等にしばってあれば良かった。(全体に内容が薄くなった)
- ・ 興味深い研究・検討が多く、議論も活発に行われていたため、有意義だったと思います
- ・ 大変よい
- ・ 実務寄りの講演が過多である。
- ・ 良い
- ・ 興味深い内容の公演が多く大変参考になった
- ・ 座長がすばらしかったです
- ・ 声の大きさが小さい場合、座長が注意を促すようにしてほしい

◆ セッションの組み方、プログラム編成に関する意見

- ・ 放射性廃棄物処分のセッションが独立しているのがありがたい。
- ・ 交通改革とPI・住民参加との区分がよくわからない
- ・ 前回と大きくかわったのでセッションの選択で悩んだ。投稿時に各セッションの説明がもう少し欲しかった。
- ・ 高レベル、低レベル、TRUの内容がもう少しはっきり分かっている方が聞く方は焦点が絞しやすい
- ・ もっと部門間の共通のテーマにして欲しい
- ・ 内容、プログラム編成については良いと思います
- ・ 聴講したいものが重なりすぎ。テーマの軸を見直したほうがよい
- ・ セッションによって時間の余りもあるので、少し考えるべきである
- ・ 流域管理のセッションをもっと増やしてほしい。II部門と共通的なところがあるのでそれも検討してほしい
- ・ I～VII部門と共通セッションの講演時間が重なってしまうのが難点である

その他(「学術講演会(共通セッション)」以外と思われる内容)

◆ 施設

- ・ CS-04 に参加しましたが、会場がややせまかった感じです
- ・ 会場通しが遠い

◆ 申し込み

- ・ 多くの項目を一度に入力しなければならないので非常に大変

◆ プログラム

- ・ CD で送られてきたプログラムが見にくい。会場で配布されるプログラムの方が良いので、それを CD に反映してほしい。

◆ 内容・運営

- ・ 橋梁だけであったが、より充実した内容を望みます
- ・ 情報関係をまとめてほしい。維持管理や環境などにバラけている
- ・ 類似した内容の研究を同じセッションに集めて欲しかった。
- ・ 最終日の講演会が 18:15 まで行われると、遠方から来られる来場者にとっては利便性が低下するように思われる
- ・ IIIとVIIで、土壌地下水汚染のセッションが全く同じ時間にあるのはおかしい。どちらかを聞けないという事になっている
- ・ 今回は最終日が遅くまであったので前倒して(前日)にもっと消化して欲しい
- ・ 発表テーマが同じもので内容が連続するものは、同じ人が発表した方が理解されやすいのでは？
- ・ 最終日の午後の設置は参加しづらいので、初日に午前と午後で 2 セッション設置して欲しい
- ・ 質問を最後にまとめると説明しにくい点があるので、個別にするほうが望ましい
- ・ 「土木哲学」または「土木倫理」の部門を作って欲しい
- ・ 優秀発表賞の審査があり、本来のディスカッションが十分にできない。連名者が自由にフォローできるようにするなどなんとかならないか？
- ・ 1編当たりの発表時間が短い。
- ・ 内容を絞り、もう少し長い時間(15分程度)の発表ができれば良いと思います
- ・ 毎年このようなものです
- ・ 発表時間ちょうどいい
- ・ 発表時間がもう少し(10分くらい)長い方が良い
- ・ 時間が短い
- ・ 大学の規模によるが、昼休みがもう少し長い方がよいと思う

◆ プログラム

- ・ ダム工事の映画:私は土木の出身ではないのにゼネコン社員だが、土木工事はどういうものかを知る良い機会となった。

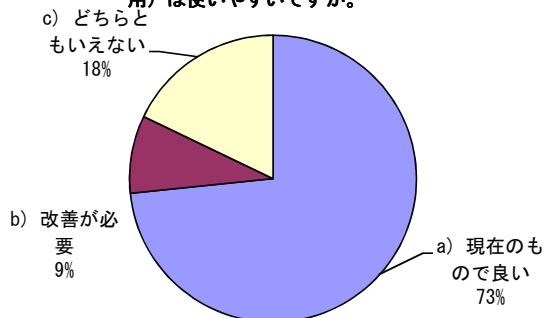
3. 電子申込みについてお聞きします

3-1 申込みのWEBシステム（講演申込用、聴講申込用）は使いやすいですか。（有効回答人数：263）

- a) 現在のもので良い (193)
- b) 改善が必要 (23)
- c) どちらともいえない (47)

7割強の人が現在のもので良いという意見である。改善が必要という意見は1割を下回った。

3-1 申込みのWEBシステム（講演申込み用、聴講申込み用）は使いやすいですか。



[参考:過去のアンケート結果]

WEBシステムに関する過去のアンケート結果

	H16	H17	H19	H20	H21
a)現在のもので良い	55%	64%	65%	70%	70%
b)改善が必要	9%	10%	17%	13%	14%
c)どちらともいえない	36%	26%	18%	17%	16%

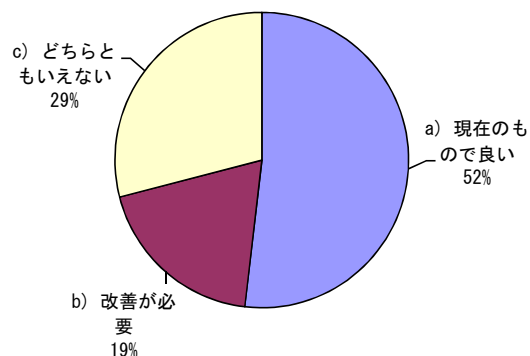
3-2 現在、講演申込みと聴講申込みの時期およびシステムが異なりますが、使いづらさを感じますか。

(有効回答人数：272)

- a) 現在のもので良い (141)
- b) 改善が必要 (52)
- c) どちらともいえない (79)

5割強の人が現在のもので良いという意見である。改善が必要という意見の件数/割合が昨年より増加した(32件/12%→52件/19%)。

3-2 現在、講演申込みと聴講申込みの時期およびシステムが異なりますが、使いづらさを感じますか。

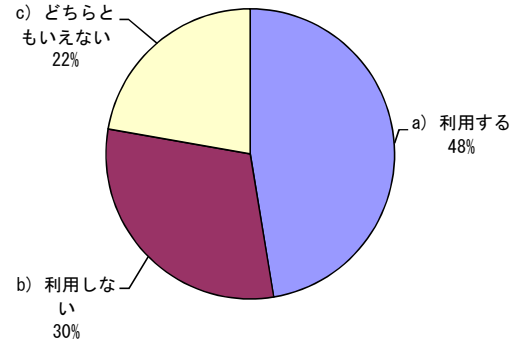


3-3 登録料の支払い方法としてコンビニ支払いを検討しています。コンビニ支払いを導入した場合（手数料は若干負担増となる可能性があります）利用しますか。（有効回答人数：270）

- a) 利用する (128)
- b) 利用しない (82)
- c) どちらともいえない (60)

約半数が利用すると回答しており、コンビニ支払い導入による会員の利便性向上が期待できる。

3-3 登録料の支払い方法をコンビニ支払いを導入した場合利用しますか。



3-4 設問 3-1、3-2、で「b 改善が必要」と回答された方にお聞きします。使いづらさを感じる点、改善が必要である点を記入ください。（自由意見）

電子申込みで不満足な点としては、下記の意見があった。

- ・ 申込みの Web システムがわかりにくい、手間がかかる等という意見
- ・ 投稿ファイルを修正できるようにしてほしいという意見
- ・ 講演申込みと聴講申込みの時期、システムを同じにしてほしいという意見
- ・ 申込み締切り時期が早すぎるという意見
- ・ クレジットカード決済を求める意見

◆ Web システムの使い勝手に関する意見

- ・ 航空券チケットのように申込みと支払いが一括できるシステムが必要ではないか。
- ・ 入力操作に入る前に事前に必要な項目を知っておきたい。
- ・ 面倒でわかりにくい・・・
- ・ 申込みを完了したのかどうか忘れてしまう。
- ・ 連名者の申込みが同時にできる選択があってもよいと思う。
- ・ 領収書をはりつけたものを FAX 送付するのはナンセンスである。
- ・ 申込み画面を探すのがわかりづらい。すぐに見つけられるように(ワンクリックくらいで)してほしい。
- ・ セッションを選ぶ際、見にくいので、もう少し見やすくしてほしい。
- ・ 社内で一括して、講演者と聴講者と座長と、一気に申し込めたら楽
- ・ 投稿ファイルの容量は増して欲しいです。
- ・ 支払いが 2 重にならないか心配。

◆ 論文の修正に関する意見

- ・ 投稿した原稿を閲覧期間中は、修正可能にしてほしい。
- ・ 一度投稿した原稿の変更を一切みとめないシステムは厳しすぎる。1～2 週間程度、確認修正期間を設けて欲しい。
- ・ 内容(論文)の修正が出来ない。

◆ 申込み時期、締切り等に関する意見

➤ 講演申込みと聴講申込みの時期およびシステムを同じにしてほしいとの意見

- ・ 講演・聴講の申込みを同時期にして頂きたい。
- ・ 同時期に
- ・ 時期とシステムが同じほうが良い。
- ・ 申込み時期を統一しないと忘れるケースがある。(今回、聴講申込みを忘れそうでした)

- ・ 違いがある積極的な理由がわからない。
 - ・ もすこし間隔を近づける方がよい、全国大会が近づいた時に思い出している。
 - ・ 同時期でも良いのでは？
 - ・ 普通、同時に申込みものだと思っているため
 - ・ 同時が良い。
 - ・ 同じシステムとして欲しい。
 - ・ いっしょにしてほしい
 - ・ 講演申し込み後に聴講申し込みをしたかどうか忘れてしまう
- その他の申込み時期、締切り等に関する意見
- ・ 聴講のみ場合、大会の直前まで事前申し込みが可能であるようにし、当日払いよりも参加費を割引すべき。
 - ・ 聴講のみの場合、申し込み時期を忘れがちになる。
 - ・ 講演申込は準備が必要なのではないが、聴講は開催日中まで期間延長すべき。
 - ・ 申込み期間の拡大を望む。
 - ・ 時間をずらした方がよいと考えております。
 - ・ 聴講申込みはもっと遅くても良いのでは(会場渡しもあって良い)。
 - ・ もう少し遅ければ、もっと学会時期に近い newly なデータが出せるのですが・・・
 - ・ 講演申し込み時期が早い。
 - ・ 講演申し込み時には参加できるかどうかかわからず、直前になって参加できるとなれば、当日参加で高くなる。
- ◆ クレジットカード決済に関する意見
- ・ web での登録後 Fax というのは手間が多い。カードでの支払い等ができるようになると便利。
 - ・ カード支払いがよい。
 - ・ ネット銀行、カードからの支払いを可能としてほしい。
 - ・ クレジットカードによる支払いにして欲しいです。
 - ・ 支払い方法にクレジット決済があると良い。
 - ・ クレジットカード決済してほしい。電子化を進めて欲しい。
 - ・ 領収書の添付では無く web 上で手続きが終わる。例えばクレジットカード。
- ◆ その他の意見
- ・ 土木学会員は無料でよいのではないか。

4. 概要集についてお聞きします

4-1 概要集は今年度から DVD 版になりました。この点についてご意見があれば、記入ください。(自由意見)

有効回答数 136 うち、賛成ないし基本的に賛成の意見が 84%、CD-ROM や冊子など他の媒体を希望する反対意見が 16%であった。詳細な内訳は以下のとおり。 ※()内は回答数

- ・ 賛成および基本的には賛成という意見(114)
このうち、更なる改善や機能の充実を求める意見が 14 件あった。一括印刷の機能や会場での印刷を求める意見が多い。
- ・ CD-ROM がよい。どちらか選択できる方がよいという意見(6)
- ・ 本や他の媒体(USB メモリ、ダウンロード方式など)を求める意見(11)
- ・ DVD は使いづらいという意見(5)

- ◆ 賛成および基本的には賛成という意見
- ・ 良いと思う。(複数)
 - ・ 1 枚にまとまって良い、使いやすい。(複数)
 - ・ OK(複数)
 - ・ 使いやすい。(複数)

- ・ 問題ない。(複数)
- ・ 十分
- ・ DVDの方がよい。
- ・ 今後もDVDでいいと思う。
- ・ 特に問題はなく、継続してよいと思う。
- ・ 使用が容易で便利である。非常に良いと思う。
- ・ 便利。
- ・ 便利です。
- ・ 良い取組みです。
- ・ 使いやすい。ネット環境になくとも見ることができてよい。
- ・ 持ち運びが楽なこと電子データとなっており、扱いやすいので、非常に良いと思う。
- ・ DVD版は従来より見やすいです。
- ・ 見やすい。
- ・ 枚数が減ってよい。
- ・ 全体に電子データでもらえて良かった。
- ・ 検索が可能でよい。
- ・ 検索しやすくなった。
- ・ 検索し易くよいと思う。
- ・ 従来のものより使いやすくなった(検索機能)
- ・ ROMの枚数が1枚になり、検索もしやすくなったと思います。
- ・ 検索機能があり便利。
- ・ とても使いやすいと思います。コンパクトかつ検索しやすいと思いました。
- ・ 検索のしやすさ、保管スペースの関係から非常に良いと思います。
- ・ かさばらず、良いと思います。
- ・ かさばらないのでDVDでよい。
- ・ 論文集は重いので、これで良い。
- ・ 必要なもののみを打ち出せばいいので問題ないと思う。
- ・ 事前に聞きたいページを印刷できるので便利。
- ・ ペーパーレスでいいと思う。データも残りやすい。
- ・ 紙の無駄、環境貢献の面からDVDでよい。
- ・ 紙を使用しないのはいいことだと思う。
- ・ 紙の節減になり賛成。
- ・ 非常に良いと思う。以前よりペーパーの必要はないと考えていた。
- ・ 資源を無駄にしないいい試みだと思う。見たい原稿がすぐに見られるので使いやすい。
- ・ プリントアウトせずとも会場にノートPCとDVDを持ってくれば概要版を閲覧可能なのでよい。
- ・ ハード容量の少ないモバイルPCには負荷がかかるが容量としてコンパクトにするためには必要だと思います。
- ・ 管理しやすいのでよい。
- ・ 安くならないならDVDがよい。
- ・ 違いを感じなかった。
- ・ 特に気づきませんでした。
- ・ どちらでも。
- ・ CDでもDVDでもどちらでもよい。
- ・ 容量的に止むを得ないと思う。
- ・ 容量のこともありCD-ROMではだめか。

◆ 改善意見等の付いた賛成意見

- ・ 使いやすくてよかったです。セッションごと一括印刷できればと思います。
- ・ 会場に有料でも良いからプリントアウトできるコーナーを設けて欲しい。
- ・ 良い。会場にプリント設備があると嬉しい。

- ・ Mac でも一括プリントできると嬉しい。
 - ・ 使いやすかったが、一度に印刷できればよかった(セッション毎でも)。
 - ・ 一括印刷で両面印刷、1枚に2項の印刷等できるよう機能を充実して欲しい。
 - ・ 必要な書類のみ印刷等できるとよかった。
 - ・ それぞれのセッション単位や部内単位で一体になった PDF が見られると便利。
 - ・ DVD2枚にこだわらず、枚数が増えても良いので、一件当りの要領を 2MB 程度に増やして欲しい。
 - ・ CD では複数枚の CD になっていたのが DVD の方が良い。CD ではpdfをフォルダ内から直接コピーできたが DVD では出来なくなっていて不便。
 - ・ DVD 版がコンパクトで良い。但し、参加費用を削減すべき。
 - ・ 良い。USB メモリーでも良いかも。
 - ・ 手持ちの必要なし。よってよいと思います。WEB でも password 付きで入手できるとよいと思います。
 - ・ 資源の節約になり良いと思う。更に WEB での配布にすれば、なお良い。
- ◆ CDがよい。どちらかに選択できる方がよいという意見
- ・ 会社のパソコンが CD しか使えないので、CD-ROM の方が良い。
 - ・ CD-R にして欲しい！
 - ・ パソコンの種類で見れない場合が発生するため、従来の CD-R の方がよい。
 - ・ 部門別になってもいいので、CD の方がよい(すべての PC で DVD 対応でないため)。
 - ・ PC が DVD 付きでないので CD 版も発行できないのか？
 - ・ 両方使えるようにして欲しい。
- ◆ 本や他の媒体(USB メモリ、ダウンロード方式など)を求める意見
- ・ 事前準備が出来ない場合、不便。やはりペーパーが使いやすい。
 - ・ 紙版の方が発表の理解度や、セッション選択の際に役立つと思う。
 - ・ 本が良い。
 - ・ 冊子が良い。
 - ・ 紙の方が良い。
 - ・ 資源の節約だけれども、ペーパーにしないと見にくい？
 - ・ パソコンがなければ見られないというのは不便だと思う。
 - ・ フラッシュメモリー (USB)版を検討してほしい。
 - ・ その他。USB メモリー、SD カードメモリー等の記録媒体を選択できると良い。(パソコンのドライバー環境に応じて選択)
 - ・ ダウンロードする方式でよい。
 - ・ 下記(ダウンロード方式)を急いでください。
- ◆ DVD は使いづらいという意見
- ・ セキュリティガードのある PC では、検索が使用できない。
 - ・ DVD の読み込みについて、パソコンの能力により使いづらさが発生するようです。
 - ・ DVD ドライブ内蔵型でない PC にインストールしたが、起動しなかった。
 - ・ DVD になるとあまり見たくなくなる。
 - ・ 使いづらいからレジュメにまとめて欲しい。

4-2 将来的には HP からのダウンロード方式への変更についても検討しています。この点についてご意見があれば、記入ください。(自由意見)

有効回答数 167 のうち、賛成ないし条件付きで賛成の意見が 60%、反対ないし不安視する意見が 28%、DVD との併用を望む意見が 12% であった。詳細な内訳は下記のとおり。 ※ () 内は回答数

- ・ 賛成および基本的に賛成する意見 (100)
このうち、参加料に関する要望付きの意見が 7、システムに関する要望付きの意見が 27 あった。
システムに関する要望としては、
 - 過去文献も閲覧・ダウンロードできるようにしてほしい
 - HP 上での検索機能と連動できるようにしてほしいなどの意見が多くあった。
- ・ DVD との併用がよいという意見 (20)
- ・ 反対、DVD やその他の媒体がよいという意見 (36)
- ・ ダウンロード時間やセキュリティなどに不安があるという意見 (11)

◆ 賛成および基本的に賛成する意見

- ・ 良いと思う。(複数)
 - ・ 賛成(複数)
 - ・ OK(複数)
 - ・ ダウンロードの方がよい。(複数)
 - ・ ダウンロードにすべき。(複数)
 - ・ さらに良い。(複数)
 - ・ 是非実施してほしい。(複数)
 - ・ 是非お願いしたい。(複数)
 - ・ 是非進めてほしい。(複数)
 - ・ 問題はない。(複数)
 - ・ ぜひ検討して欲しい。
 - ・ よいと思う。来年からお願いします。
 - ・ HP からの方が使い易いのでぜひ導入してもらいたい。
 - ・ 論文の電子化の流れにあっているので、いいと思う。
 - ・ 必要な部分のみ印刷できるのでその方法でよいと思う。
 - ・ 利用しやすくなるのであればよい。
 - ・ 利便性の点から好ましいと思う。
 - ・ 便利です。
 - ・ ダウンロード出来ると便利。
 - ・ 利用しやすいと思います。
 - ・ 事前申込できない場合もあるので DL 方式は良いと思います。
 - ・ DVD を配らずにダウンロード式の方がコスト削減になるので良い。
 - ・ 良いと思う。速度が遅くならないか心配。
 - ・ DVD だと傷つくと読み取れなくなるので、よい案だと思う。サーバーの混雑が心配。
 - ・ 予算でやむを得ないのなら仕方ないと思います。
 - ・ 経費削減のためなら理解する。
- 参加料に関する要望付きの意見
- ・ その分、料金を安くするのであれば OK。
 - ・ 参加費がさらに安くなればよい。
 - ・ ダウンロード方式のほうがお金が安くなるのであれば良い。
 - ・ 論文投稿料を下げてくださいれば OK です。
 - ・ ダウンロード方式となれば、概要集の作製料もかからなくなるので、参加料等に還元されればうれしいことかなと感じます。
 - ・ コストベネフィットが問題か？学会としてはコストアップにつながる一方、ユーザーはメディアがない分、コスト的

な割引を希望するはず。

- ・ 選択できて費用が大幅に安くなるなら利用する。
- システム・セキュリティなどに関する要望付きの意見
 - ・ 昔の版も引用できるのであれば賛成。
 - ・ 過去の土木学会図書館でのデータ類とうまくリンクさせてほしい。
 - ・ 過去のものも閲覧できると良い。
 - ・ 過去の概要集もダウンロードできれば良い。
 - ・ 便利になり OK です。過去の文献についてもダウンロードできるようにして頂きたい。
 - ・ 大歓迎の方針です。過去の PDF、発表 PPT を含めて、アーカイブサービスがあるとよい。
 - ・ 過去のことを参照したいときにどうなりますか？
 - ・ スムーズにダウンロードができるならばいいと思います。
 - ・ ダウンロード時間があまりかからないようであればよいと思う。
 - ・ まとめてダウンロードできるようにして欲しい。
 - ・ 分割ダウンロードなど、容量的に負荷のかからないシステムにして下さい。
 - ・ 全体 DL と、カテゴリー別 DL が行えるようにして下さい。
 - ・ ダウンロード期間、回数の制限をなるべく少なくして欲しい。後になって欲しい時にダウンロードできるように！
 - ・ いつまでもダウンロード可能なようにしていただけるとありがたい。
 - ・ 検索機能とのコラボができれば賛成。
 - ・ 検索が行いやすければ良い。
 - ・ キーワード検索できるようにして欲しい。
 - ・ キーワードによる検索機能をつけてほしい。プログラムとリンクしたダウンロード方式にしてほしい。
 - ・ HP 上で検索を可能にする。
 - ・ どちらでもよいが、HP からの検索システムによる。
 - ・ PDF はセキュリティの設定をしっかりと行っていただければ良いと思います。
 - ・ ダウンロード形式がよい(セキュリティ面の課題がなければ)。
 - ・ 有料として、会員番号、パスワードが必要。
 - ・ HP だと誰でも見られてしまう(参加者以外にも)ので、暗証番号などのシステムが必要だと思う。発想自体には賛成。
 - ・ パスワードなしで閲覧できるのであれば HP でもよい。
 - ・ その方がいいと思うが、区別をどうするのかの問題であると思う。
- ◆ DVD との併用がよいという意見
 - ・ DVD も欲しいので、両者(HP と DVD)が欲しいです。
 - ・ 保存性を考えると DVD 版は必要と思います。+HP は歓迎です。
 - ・ メディア版はなくすべきではない。ダウンロード方式と併用であれば賛成としたい。
 - ・ DVD と併用がよいと思います。恒久的に閲覧できるとよいです。
 - ・ 購入できる形で DVD も残して欲しい。
 - ・ しばらくは併用してもらいたい。常にネット環境にいるとは限らないため。
 - ・ 希望者には DVD 版も用意すべき。
 - ・ 環境に不安。DVD が良い。併用なら。
 - ・ DVD の方が便利です。但し、聴講者には HP でのデータ受領も必要かと思います。
 - ・ いいと思われるが上記4-1の理由から DVD はあった方がいいと思われる。
 - ・ 特にないが、DVD 版も残してほしい。
 - ・ 値段同じで DVD 入手も残して欲しい。
 - ・ DVD 版との併用であれば賛成です。
 - ・ それだけだとよろしくない(時間がかかるから)但し、併用は好ましい。
 - ・ 個別配布も継続してほしい。(もしくは販売?)
 - ・ 記録性という観点から DVD 等の媒体を残して欲しい。
 - ・ できれば HP からダウンロード方式と DVD の併用をお願いしたい。

- ・ web か、DVD かを選択できるのが良い。Web にアクセスが集中した際の対応が可能なら賛成。
- ・ 手元に媒体はあるようにしたい。

◆ 反対、インターネット環境に不安という意見

➤ DVD、CD などがよいという意見。

- ・ DVD の方がよい。(複数)
- ・ 反対(複数)
- ・ 現状でよい。(複数)
- ・ 必要ないと思う。(複数)
- ・ やめてほしい。DVD で可。
- ・ 残しやすいのは DVD と思う。
- ・ HP は他に利用することが多いので DVD の現行通りで良い。
- ・ DVD のほうが良い。記録を残しておきやすい。
- ・ DVD が良い。会場に来てから PC で見ることが多い。
- ・ 容量の問題が出るので DVD がベターと考える。
- ・ DVD として成果物が存在する方が良い。
- ・ 全員に配布という意味で DVD が良い。ダウンロード式は反対。
- ・ データが多く、ダウンロードに時間がかかる場合も考えられるので、DVD の方が良い。
- ・ 通信環境によってはダウンロードに時間を要するので、あまり希望しない。パケット代等も発生する。
- ・ 実際に紙媒体のものを開き読むからこそその発見もあると思うので、ダウンロード方式はやめてほしい。
- ・ パソコンの性能や時期(大会直前のアクセス集中)によっては時間がかかることが予想される。CD や DVD の複製は安価であり、このままで良いのでは？
- ・ HP からのダウンロードは悪くないと思いますが、有効期間や制約等があるのであれば DVD が間違いないと思います。
- ・ システムによります。アカウントやパスワードなどが必要になる様なややこしいシステムなら DVD の方が良い。
- ・ 当日見れない可能性もあるのでやめてほしい。
- ・ エコな点ではいいが、DVD 版の方が便利。
- ・ 現在の DVD 方式を継続願いたい。
- ・ DVD でいい。HP ダウンロードには時間がかかる。
- ・ DVD のままでも良いのでは？希望者へのみ配布でもよいかもしれません。
- ・ めんどく。
- ・ CD で欲しい。
- ・ 冊子が良い。

➤ ダウンロード時間やセキュリティなどに不安があるという意見

- ・ 概要集データのサイズが約 1G であり、HP からのダウンロードは大変かもしれません。セッションずつなら楽になる。
- ・ 容量的に大丈夫かどうか(回線速度)
- ・ 一日のデータをダウンロードするのは大変ではないか？
- ・ PC 環境によってはダウンロードしにくいと思います。
- ・ 集中した場合のダウンロード不具合が不安。
- ・ アクセス集中によるダウンと大会終了後のダウンロード体制を考慮しておく必要がある。
- ・ ダウンロード目的のアクセス増でファイルの入手が困難にならないか不安。(2GB×会員数(参加者数))のダウンロードは可能？
- ・ パスワードの管理が問題である。
- ・ 会員以外のもので、ダウンロードできるのか？
- ・ 印字が汚いと細かい字が読めなくなる(各個人のプリンターによる)。せめてプログラムは事前に印刷物をもらいたい。
- ・ インターネット環境をもたない人への配慮が必要だと思います。

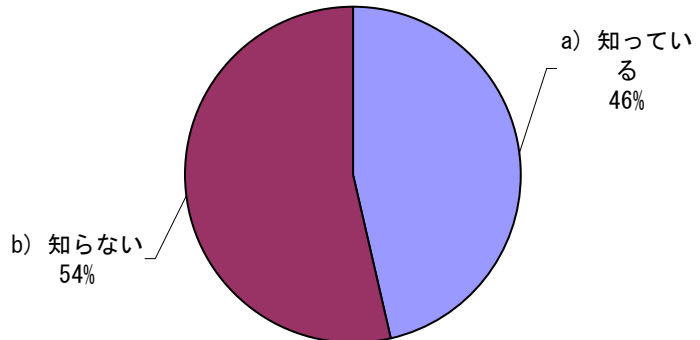
5. 一時保育サービスについてお聞きします

5-1 一時保育サービスを実施していることについてご存知ですか。 (有効回答人数：229)

- a) 知っている (106)
b) 知らない (123)

5-1 一時保育サービスを実施していることについてご存知ですか。

一時保育サービスを知っている人が半分以下である。



5-2 一時保育サービスについてご意見があれば、記入ください。

有効回答数 34 件のうち、以下の結果となった。

- ・ 一時保育サービスは良いという意見(19 件)
- ・ 学会負担とすべきであるという意見(3 件)
- ・ 初めて知った、PR すべき等の意見(5 件)
- ・ その他(4 件)

◆ 良いという意見(19 件)

- ・ 是非続けてください。今回利用していないですけど、女性としてありがたいと思っています。
- ・ 参加者のすそのを広げるのに良いことだと思う
- ・ いいサービス。育児によって学会参加がさまたげられないように、より使いやすいサービスを目指してほしい
- ・ 女性参加機会を増やすためにも良いと思います。
- ・ 利用者がおれば必要ではないか
- ・ 非常にいいことだと思いますので、充実させてください
- ・ 参加しやすくてよい
- ・ 安価でよいと思う。
- ・ よいと思う等(11 件)

◆ 費用負担に関する意見(3 件)

- ・ 参加人数も少ないので、学会負担で良いのでは
- ・ 女性会員へのサービスとして無料とすべき
- ・ 大会が負担する

◆ 改善等の要望(3 件)

- ・ 朝一番の講演なので利用できず残念でした。8:40 学会 start であれば 8 時から利用できるようにして頂けると助かります。よろしく願い申し上げます。
- ・ 良いことと思う。但し万一に備えて介護・救命の対応の確認
- ・ 利用率や要した費用を公開してほしい。

◆ PR や認知度に関する意見(5 件)

- ・ PR に力を入れて欲しい等(2 件)
- ・ 周知して利用してもらうことが大切。女性・男性(母・父)関係なくよい対応と思う
- ・ 今回初めて知りました。良いサービスと思います等(2 件)

◆ その他(4 件)

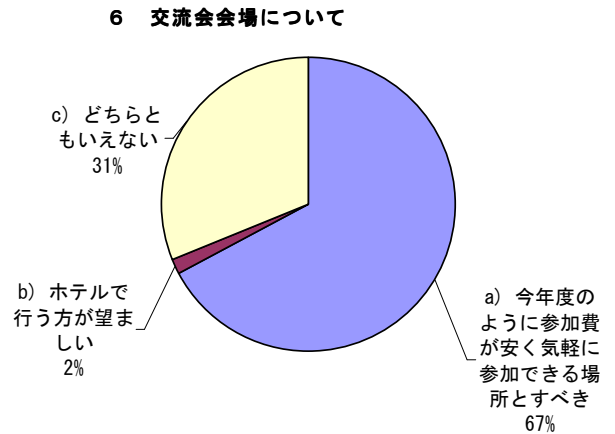
- ・ 他の学会でもやっていますが、どんどん世の中を変えていって欲しいです。
- ・ 一部の学会員のためでなく、ラウンジみたいなものがあるとよい
- ・ 良いことであると思う。しかし、土木ゆえ女性が少ないこと、あまり大きくすると家族旅行の一時預り所になる恐れがあるので、そのあたりも考慮いただければと思う
- ・ ニーズ調整が必要

6.交流会会場についてお聞きします

今回の全国大会では、交流会会場をホテルではなくサッポロビール園とし、参加料も例年より大幅に引き下げました。この点についてどのようにお考えですか？(有効回答数：153)

- a) 今年度のように参加費が安く気軽に参加できる場所とすべき (106)
- b) ホテルで行う方が望ましい (4)
- c) どちらともいえない (69)

参加費が安いほうが良いという意見が 7 割、どちらともいえないが 3 割であった。



7. その他

魅力ある全国大会を実施するために、全国大会の運営や行事内容に対して改善点・要望等がありましたら、ご記入ください。

有効回答数 106 件のうち、その分類及び件数は、以下の結果となった。

- (1)会場に関する意見・要望(58 件)
 - 1)会場案内の改善を求める意見 (18 件)
 - 2)会場の室温の改善を求める意見 (18 件)
 - 3)開催地に関する意見(7 件)
 - 4)会場(教室)の広さの改善を求める意見(3 件)
 - 5)会場内のアクセスの改善を求める意見(3 件)
 - 6)会場インフラの改善を求める意見(4 件)
 - 7)発表の聞き取りやすさ、見やすさの改善を求める意見 (5 件)

- (2)プログラム・行事に関する意見・要望(25 件)
 - 1)交流会の改善を求める意見 (3 件)
 - 2)昼休みを長くして欲しいという意見等(4 件)
 - 3)開催時刻の改善を求める意見(2 件)
 - 4)発表時間に関する意見(3 件)
 - 5)講演構成に関する意見(4 件)
 - 6)行事に関する意見(5 件)
 - 7)駅展示が良かったという意見(2 件)
 - 8)その他(2 件)

- (3)手続きに関する意見・要望(13 件)
 - 1)参加料が高いという意見(6 件)
 - 2)WEB での申込みの改善を求める意見(3 件)
 - 3)パワーポイントデータの入出力方法の改善を求める意見(2 件)
 - 4)その他(2 件)

- (4)その他の意見・要望(10 件)
 - 1)開催時期に関する意見(1 件)
 - 2)学生のマナーへの苦情(2 件)
 - 3)土木学会への要望(2 件)
 - 4)その他(5 件)

(1)会場に関する意見・要望(58 件)

1)会場案内 (18 件)

①会場案内看板(10 件)

- ・ 会場案内をもう少し改善してもらいたい
- ・ 会場案内が不親切。現在位置の説明不足。行きすぎた時、逆方向の流れでの案内不十分
- ・ 看板類(案内板)をもっとふやしてはどうか？特に北大は広いので。
- ・ 看板がわかりにくすぎる。大看板にきちんと第〇部門と明記すべき。
- ・ 今回は特にⅦ部門の案内がよくわからなくて迷った。看板の数ではなく内容を改善してほしい。
- ・ 案内看板の距離表示がデタラメ
- ・ 今回会場の場所がわかりづらかった。案内板を充実させて欲しい
- ・ 地図がわかりづらい。ひどい学会でした
- ・ 食堂案内が欠如等(2 件)

②建物内の案内 (3件)

- ・ 教室がどこにあるかを分かりやすくして頂きたい。当日のタイトル、発表者を教室の外に貼って頂きたい。宜しくお願ひ申し上げます。
- ・ 部屋の入口にはセッション名を貼って頂けると助かります。
- ・ もう少し会場案内をわかりやすくして欲しい。例えば、V-3 の会場に行ったところ、案内どおり辿って行ったのですが、前から入るといふ形になり、発表者に迷惑を掛けてしまいました。このような事が無い様願ひます

③プログラム・行事の案内 (2件)

- ・ 各会場に実施しているプログラムを貼るとよい。例年はそのようになっていた
- ・ HP で行事内容を案内するのはよいが、必要最低限のものは掲示・配布数を増やした方がよい。

④謝意等 (3件)

- ・ 今回、案内係の方が親切でとても助かりました
- ・ ありがとうございます
- ・ 運営の皆様、とても快く参加できましたので、お礼申し上げます

2)会場の室温等 (18件)

①暑さ対策 (15件)

- ・ 会場、教室によっては暑くて集中できなかった等(5件)
- ・ 会場の施設内容によってはありますが、空調の無い所はきびしい環境になってはいました。次回以降は時季のセンタクと施設内容に差の無いように配慮願ひます。
- ・ もしまた北大でやる事があれば、できればクーラーが欲しいです。スーツにこの気温は正直厳しかったように思いました。
- ・ V会場でクーラーが作動してないようだった。外気温によっては ON 願ひたい
- ・ 発表会場が暑いところとそうでない所がある。発表・議論環境を考えて欲しい。
- ・ 今回は気温が高く冷房のない部屋での発表は少し辛いと感じた。団扇を配布して欲しかった
- ・ 暑いので窓を開けており発表者の声が聞きづらかった
- ・ 会場に空調がなく暑すぎて集中できませんでした。午後はくさくて途中で気分が悪くなり退室しましたが、暑さゆえに発表を聞かず帰られた方が多かったようです。昨年の福岡は良かった！！
- ・ 冷房が効いている部屋とそうでない部屋があった。工学部の部屋は暑かった。逆に共通セッションの部屋は寒かった。
- ・ 全室クーラーにして欲しい
- ・ 飲み物を1本サービスした方がいい

②エアコン効き過ぎ (3件)

- ・ エアコンがききすぎてさむかった等(3件)

3)開催地 (7件)

- ・ 札幌のように宿泊施設がたくさんある場所で開催してください。
- ・ たまには東京で実施して欲しい。参加者の経費を考慮してください。
- ・ 47 都道府県で順番に行うのがよい。東京は除外してもよい。
- ・ 会場は駅から近い方がよい
- ・ 開催地のバリエーションを開けてほしい。発表者たちは日頃、多くの犠牲を払って研究に打ち込んでおり、1年に1度のご褒美として良い思い出となる会場は、なお良いと思う。
- ・ 久々の札幌でうれしかったです。
- ・ 北海道は涼しくてよかったです。次も北海道が良いです

4) 会場(教室)の広さ (3件)

- ・ 会場の座席が狭い。詰め込みすぎ。
- ・ 特別講演会は全員が着席できる場所を選ぶべき。
- ・ 教室は広い方がよい(セッションによりませんが)

5)会場内のアクセス (3件)

- ・ 各会場がもう少しコンパクトにまとまっていると、他の分野も聞くことができ便利等(2件)
- ・ 工種が同じものについて同一会場で講演していただくと聴講しやすいので、改善してもらえると良いと思います。

6)会場インフラ (4件)

- ・ check できるパソコンをもう少し多く用意して欲しい。
- ・ 灰皿が少ない。
- ・ クロークを設けてほしい等(2件)

7)発表の開取りやすさ、見やすさ (5件)

- ・ 学術講演海中、外で工事をしており騒音が気になった
- ・ 発表会場で使用しているレーザーポインターがどこを示しているのか見えにくいいため、点から円あるいは赤から緑等、見えやすい対応を願いたい
- ・ 会場によって聞き取りにくい場所がある
- ・ 座長が質問するのは良いのだが、発表者との個人的な話(小声での)がとても多かった。
- ・ 発表者の発声が悪い(声が小さすぎ、分かりにくい話し方など)

(2)プログラム・行事に関する意見・要望(25件)

1)交流会(3件)

- ・ 交流会について参加できる人数は、会場等により制限があることは理解するが、もう少し大勢参加できるようにはならないものか?
- ・ 交流会、参加費を低減するための努力に敬意を表しますが、本来の目的がかなう形で実現していただければと思います。
- ・ 今回は当日分はなかったようである。会場分散型も検討願いたい。

2)昼休み・昼食(4件)

- ・ 昼休みを長くしてほしい。等(3件)
- ・ 弁当販売等を考えた方がよさそうです

3)開催時刻(2件)

- ・ 最終講演は18:15までは少し遅い
- ・ 朝も、もう少し遅い開始時間がいいと思います

4)発表時間(3件)

- ・ 発表が7分であったので、時間が超過しそうになった。他の発表者で何人か超過も見受けられたので8分にしたらいいと思う
- ・ 公演について「入退場含めて7分」ではわかりにくい。質問時間が入っているのかがわからず資料作りに手間取った
- ・ 公演時間について厳格に指導すべき

5)講演構成等(4件)

- ・ 2日目のスケジュールをもう少し検討願いたい。講演数が少ない。
- ・ シールドに関する全体の研究討論会があればよい
- ・ IV部門から軌道(保線)のセッションがなくなると伺いました。活発は討議を行うためにも、現在の体制のまま来年度以降も進めてほしいです。
- ・ 学生会員による討論会

6)行事(5件)

- ・ 行事の種類が多く、一つ一つに対する注目度が低い。
- ・ オルガンコンサート、アンサンブル、シビルランチコンサートは、ともに良い企画と思います。可能であれば、一般市民の参加も進めることができるとよいように思いました。
- ・ スタディツアーを実施してほしい
- ・ 現地視察があれば良いのではないですか。
- ・ 一般の方々を呼び込め、“土木”との接点を持っていただけるような斬新な企画を期待しております。

7)駅展示(2件)

- ・ 駅のコンコースのパネル展示は非常に良い。(イメージアップ)
- ・ JR札幌駅に土木学会のパネル展示があり見ている人も多かったです。いいアイデアのように思いました。

8)その他(2件)

- ・ 全体討論会で、会場全体の討論で数人しか意見できなかつたことが残念でなりませんでした
- ・ 今回、楽しみにしていたシンポジウムのいくつかを業務都合で聴講できなかつたのが非常に残念。これこそ土木学会の真髄だと思う。

(3)手続きに関する意見・要望(13件)

1)参加料が高いという意見(6件)

- ・ 一般(非会員)の参加料は2万円とは高すぎる。むしろ講演者より同額か1割引の金額にすべきと考える等(2件)
- ・ できれば参加費をもう少し安くしてほしい
- ・ DVD1枚で参加費13,000円は高い
- ・ 全体の参加料が高すぎる。1編当たりの発表討議の時間への比率で考えるとコストパフォーマンスが悪い
- ・ 学生が参加しやすいように、発表する学生はもっと安くし、若い人を多く参加させる工夫をすべきである

2)WEBでの申込み(3件)

- ・ WEBにて入会申し込みできるようにしてもらったらよいと思います。
- ・ 登録料の支払いをweb決済ができるようにしてほしい
- ・ 事前申し込みの割引期間が過ぎても申し込みをネットで受け付けた方が参加者だけでなく運営側も負担が減るのではないのでしょうか

3)資料データ関係(2件)

- ・ 講演者用PPTファイルは現状、メモリスティック、CDのみであるが、DVDでも持参できるようにしてほしい。
- ・ 研究討論会資料PPTがHPからダウンロードできるようにすべき

4)その他(2件)

- ・ 座長受付時でのできごと:「参加料支払いの確認がとれていない」との問い合わせを受付の方から受けた。FAXした参加申し込みを見せることで了解されたが、入金時での確認システムが必要である。
- ・ 学生が発表する際に学会の登録と参加で料金を支払うのはあまりいいとは思えなかつた

(4)その他(10件)

1)開催時期(1件)

- ・ 各地で開催される防災訓練と同じ時期に全国大会を開催すべきではないと思います。

2)学生のマナーへの苦情(2件)

- ・ 北大の学生の品格の無さに幻滅しました。(会場の廊下を大声で話しながら歩くなど)。今後はその様な大学の品格も含めて、大学を選定して頂きたい。
- ・ 控え室の学生の私語が多い

3)土木学会への要望(2件)

- ・ 支部に丸投げするのではなく本部で専門部隊を作り支部の負担を減らすべき
- ・ 研究討論会の概要も学会誌で紹介していただきたい。月ごとに4つずつ×1～2ページくらいで。

4)その他(5件)

- ・ 潤滑な運営に感謝しております
- ・ 運営ご苦労様でした
- ・ 現行でよいと思う
- ・ 若い方が大御所のまじって堂々と発表していて好感がもてた。
- ・ 事前の情報にもっと観光とか街紹介なども入れてほしい(参加証配布時かダイレクトメールで)

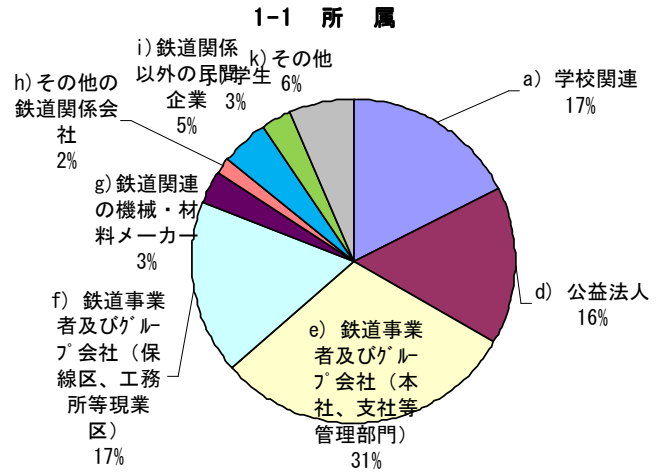
§ 4. 第 4 部門におけるセッション「鉄道工学」に関するアンケート（詳細版）

1. あなたのことについてお聞きします

1-1 所属（有効回答人数：63）

- | | |
|-------------------------------|------|
| a) 学校関連 | (11) |
| b) 公務員 | (0) |
| c) 独立行政法人 | (0) |
| d) 公益法人 | (10) |
| e) 鉄道事業者及びグループ会社（本社、支社等管理部門） | (19) |
| f) 鉄道事業者及びグループ会社（保線区、工務所等現業区） | (11) |
| g) 鉄道関連の機械・材料メーカー | (2) |
| h) その他の鉄道関係会社 | (1) |
| i) 鉄道関係以外の民間企業 | (3) |
| j) 学生 | (2) |
| k) その他 | (4) |

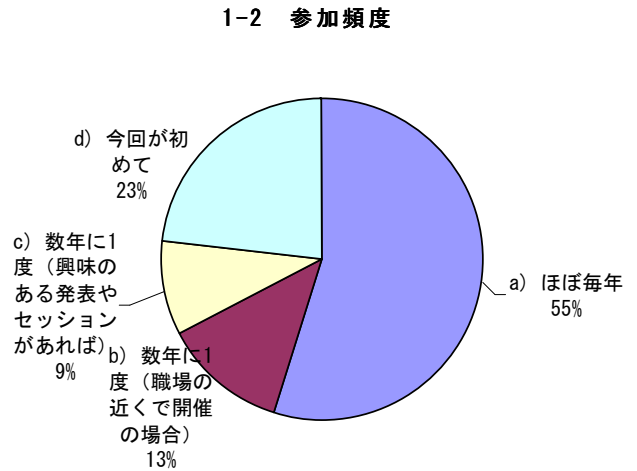
アンケートの回答者は、鉄道関係の会社が約半数を占める



1-2 参加頻度（有効回答人数：64）

- | | |
|-----------------------------|------|
| a) ほぼ毎年 | (35) |
| b) 数年に1度（職場の近くで開催の場合） | (8) |
| c) 数年に1度（興味のある発表やセッションがあれば） | (6) |
| d) 今回が初めて | (15) |

ほぼ毎年参加が 55%、今回が初めてが 23%を占める

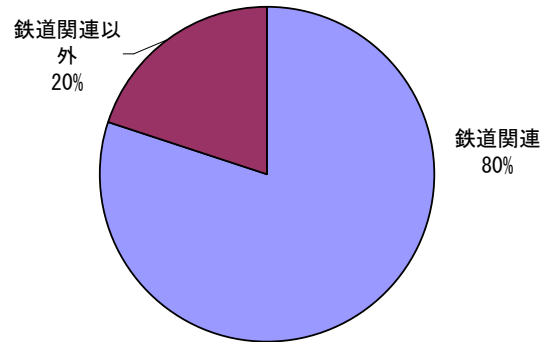


2. 聴講した学術講演会のセッションについてお聞きします

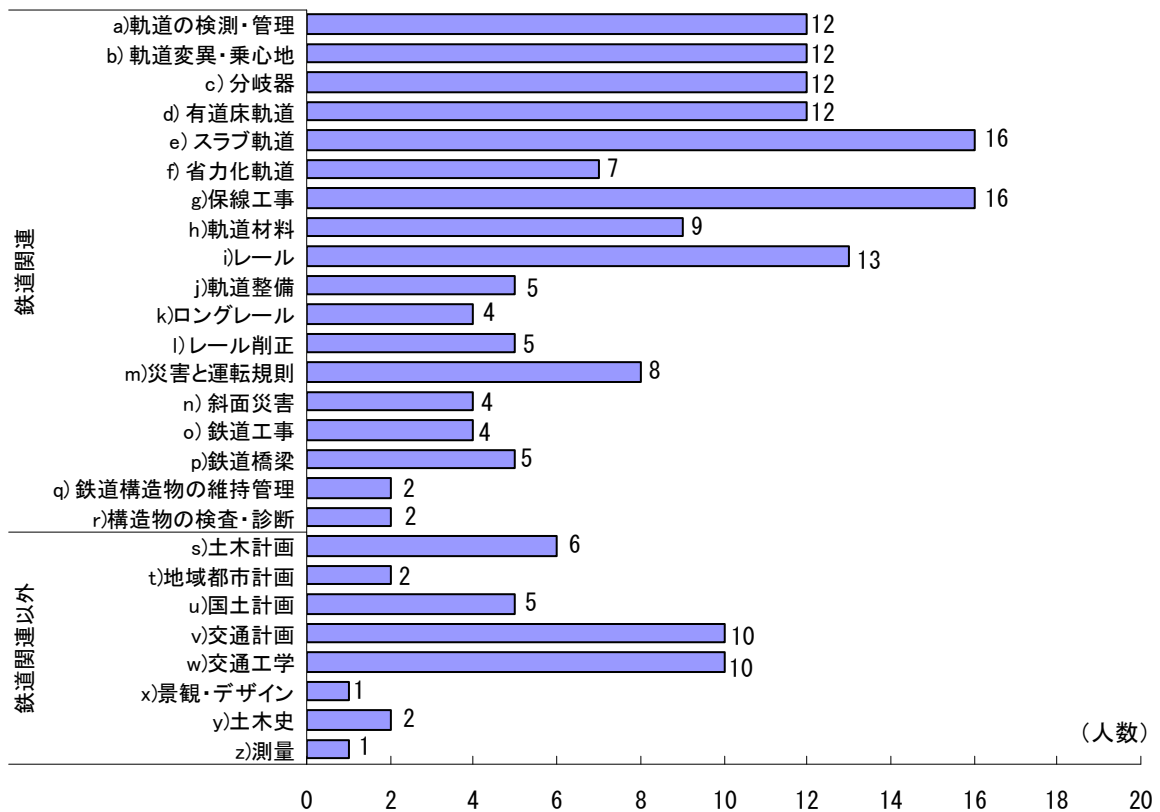
2-1 第4部門で聴講したセッションについて該当する記号に○をつけてください（複数回答可、予定も含む）
 （有効回答人数：185）

アンケートの回答者は、約8割が鉄道関連の聴講目的で参加している。詳細なセッション別にみると、鉄道関連では、「スラブ軌道」「保線工事」の参加が多い。

2-1 第4部門で聴講したセッションについて（複数回答可）



2-1 第4部門で聴講したセッションについて（複数回答可）

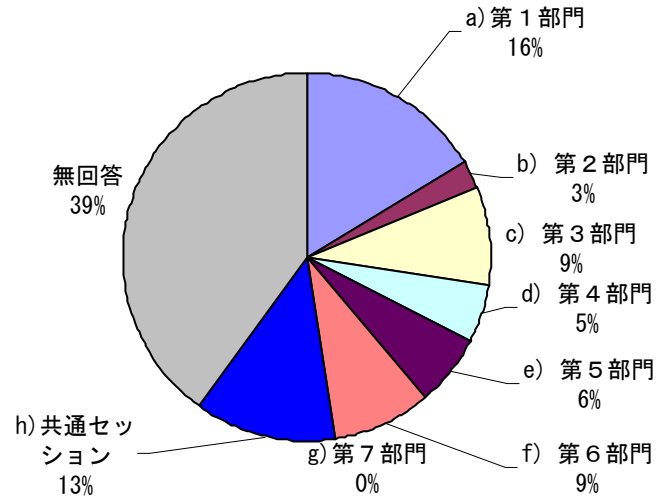


2-2 第4部門以外に聴講したセッションについて該当する記号に○をつけてください（複数回答可）
 （有効回答人数：80）

- a) 第1部門 (13)
- b) 第2部門 (2)
- c) 第3部門 (7)
- d) 第4部門 (4)
- e) 第5部門 (5)
- f) 第6部門 (7)
- g) 第7部門 (0)
- h) 共通セッション (10)
- 無回答 (32)

無回答と第4部門あわせて4割強が他の部門を聴講していないと回答している。また、他の部門を聴講しているのは、第1部門（応用力学、構造力学、鋼構造、耐震工学、地震工学、風工学等）、共通セッションの順で多かった。

2-2 第4部門以外に聴講したセッション

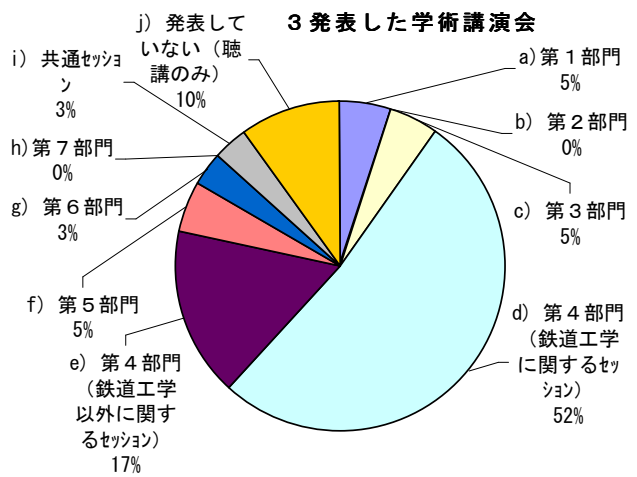


3. 発表した学術講演会のセッションについてお聞きします

発表したセッションについて該当する記号に○をつけてください（予定も含む）（有効回答人数：60）

- a) 第1部門 (3)
- b) 第2部門 (0)
- c) 第3部門 (3)
- d) 第4部門（鉄道工学に関するセッション） (31)
- e) 第4部門（鉄道工学以外に関するセッション） (10)
- f) 第5部門 (3)
- g) 第6部門 (2)
- h) 第7部門 (0)
- i) 共通セッション (2)
- j) 発表していない（聴講のみ） (6)

約7割が第4部門での発表者であり、他の部門で発表した人の割合は小さい。



4. 第4部門についてお聞きします。

計画分野のセッションが中心である第4部門の分野構成についてご意見があれば、ご記入下さい。

有効回答数 10 件のうち、特に問題がないという意見が 2 件、見直した方が良いという意見が 7 件、その他の意見が 1 件であった。

(1)特に問題がないという意見(2 件)

- ・ 特にありません。現状でよろしいと思います
- ・ 交通工学が入っているため、その一部で鉄道があるのは不思議ではない

(2)見直した方が良いという意見 (6 件)

- ・ 保線に関する技術は研究分野とするのに厳しいと思う。材料や力学等に構成しなおすと良いと思う。
- ・ 計画・交通分野と定義し直せば良い。
- ・ 違和感がある。鉄道関係者だけの質疑応答になってしまっていて良くない。
- ・ 計画分野というよりは鉄道分野という一つの分野を確立してもらいたい。
- ・ 確かに計画系の発表がメインの部分に鉄道工学があるのは違和感がある
- ・ 計画分野のみで良い。
- ・ 1つの軸で論じても無意味。構造物の種類、段階(計画→施工→・・・)、力学の種類 etc の軸がある。共通セッションを充実するのがいいのではないか

(3)その他 (1 件)

- ・ 全体的に計画分野からの参加が少なくなっていることに問題を感じている。

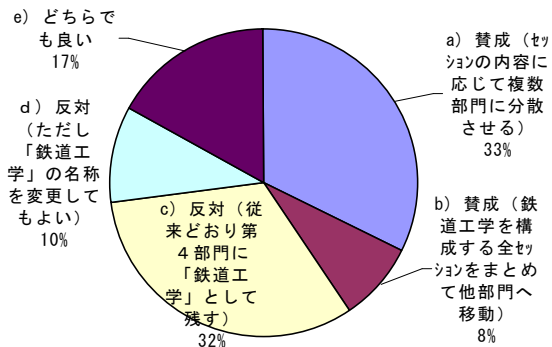
5. 第4部門におけるセッション「鉄道工学」についてお聞きします。

5-1 第4部門のうち鉄道工学に関するセッションをその内容に応じて他部門に移すことについて、あなたのご意見に近い記号に○をつけてください。(有効回答人数：59)

- a) 賛成 (セッションの内容に応じて複数部門に分散させる) (19)
- b) 賛成 (鉄道工学を構成する全セッションをまとめて他部門へ移動) (5)
- c) 反対 (従来どおり第4部門に「鉄道工学」として残す) (19)
- d) 反対 (ただし「鉄道工学」の名称を変更してもよい) (6)
- e) どちらでも良い (10)

賛成、反対のどちらも約4割前後となっている。

5-1 第4部門のうち鉄道工学に関するセッションをその内容に応じて他部門に移すことについて



5-2 設問 5-1 で回答した理由を記入下さい。また b) を選択した場合は移動先を、d) を選択した場合は提案する名称を記入ください。

有効回答数 37 件の主な内容は、以下のとおりである。

(1) 5-1 で「(a) 賛成(セッションの内容に応じて複数部門に分散させる)」と回答した人の意見(13 件)

- 1) 計画分野以外にも多岐にわたる内容が含まれているという意見(5 件)
- 2) 鉄道関係者以外の意見を聞きやすい環境にした方が良いという意見(8 件)

(2) 5-1 で「(b) 賛成(鉄道工学を構成する全セッションをまとめて他部門へ移動)」と回答した人の意見(3 件)
第 I 部門(2 件)、共通セッション(1 件)、第 VI 部門(1 件)という意見(複数意見あり)

(3) 5-1 で「(c) 反対(従来どおり第 4 部門に「鉄道工学」として残す)」と回答した人の意見(11 件)

- 1) 専門性、独自性が強いという意見(8 件)
- 2) 聴講しづらくなるという意見(2 件)
- 3) その他(1 件)

(4) 5-1 で「(d) 反対(ただし「鉄道工学」の名称を変更してもよい)」と回答した人の意見(5 件)

補修工学、輸送工学、軌道工学など

(5) その他(5 件)

(1) 5-1 で「 a) 賛成(セッションの内容に応じて複数部門に分散させる)」と回答した人の意見(13 件)

- 1) 計画分野以外にも多岐にわたる内容が含まれているという意見 (5 件)
 - ・ 検査、修繕と建設工事等で内容が幅広いので分散させたほうが良いと思います。
 - ・ 議論する分野が大幅に異なっている為部門を分けた方がいいと思われる。
 - ・ 部門ごとについて分散させることで内容が深まると思うから。
 - ・ 地盤改良を含む鉄道工事に関連する部門はⅢ部門でも良いのでは？
 - ・ 鉄道計画を除いて計画系ではないため。
- 2) 鉄道関係者以外の意見を聞きやすい環境にした方が良いという意見 (8 件)
 - ・ 鉄道部門は、鉄道だけのセッションより他の部門とあわせてやることで知見が広がると思う。
 - ・ 鉄道関係者以外の各種専門家から意見を受けることにより、研究内容が深度化する。
 - ・ 内容がかつての計画的視点であったものが無い様に思うから。
 - ・ 身内の発表会化しており、刺激が少ない。
 - ・ 鉄道会社の人しかセッションにおらず、他の業界の人が参加しやすい方がよいように思います。
 - ・ 鉄道関係者だけのセッションになっている。
 - ・ 「鉄道工学」でまとめると鉄道関係会社の人しか参加しなくなる為。
 - ・ 学術会議として鉄道分野はもう少しレベルアップする必要がある。

(2) 5-1 で「 b) 賛成(鉄道工学を構成する全セッションをまとめて他部門へ移動)」と回答した人の意見(3 件)

- ・ 第 I 部門
- ・ 第 I 部門 or 共通セッション
- ・ 第 VI 部門

(3) 5-1 で「 c) 反対(従来どおり第 4 部門に「鉄道工学」として残す)」と回答した人の意見(11 件)

- 1) 専門性、独自性が強いという意見 (8 件)
 - ・ 専門性が強い為。
 - ・ 保線分野で課題が共有できるようにして欲しい。
 - ・ 部門の内容が題として分かりやすい。
 - ・ 鉄道保守、軌道構造、軌道管理はオリジナル性と相互関連性がある。
 - ・ 鉄道工学は従来からみる分野であり変更する必要も無
 - ・ 軌道の部材に関する研究や構造についての検証は土木分野においては独自に発展しており、他セッションに組み込むことは実態にそぐわないと思う。
 - ・ 鉄道分野は特殊分野であるので独立してもらいたい。
 - ・ 鉄道工学は特殊である為

2) 聴講しづらくなるという意見 (2件)

- ・ 鉄道工学部門の講演が他部門に分散し、講演者、聴講者にとって極めて不便になる。
- ・ 部門から探すのが大変だから。

3) その他 (1件)

- ・ このままで良いから。

(4) 5-1 で「d) 反対(ただし「鉄道工学」の名称を変更してもよい)」と回答した人の意見(5件)

- ・ 鉄道事業者独自の意見交換の場として成立しているから。
- ・ 鉄道工学独特の分野があるため、補修工学
- ・ 輸送工学など。
- ・ 軌道工学
- ・ 無理に名称を変更しなくても良いのでは？特に提案する名称はない。〇〇工学でなければいけないのか(“鉄道”のみ)

(5) その他(5件)

- ・ 内容によっては第6部門なのかな、という気は確かにする。しかし、今の形にも良い所がある。
- ・ 私の専門分野(地震防災)は第1部門でよいが、軌道関係はどこに収めれば良いのかわからない。
- ・ 他部門の意見を取り入れるべき内容と、そうでない内容がある(補修工等)
- ・ 全セッションをまとめて移動するのなら問題は無いと思う。
- ・ どちらでもよい

5-3 設問 5-1 の回答を実施した場合のメリット、デメリットを記入してください。また、デメリットの場合は対応案があれば記入ください。

有効回答数 29 件の主な内容は、分類すると下記のとおりである。
複数分野への分散により、他分野と幅広い議論が可能であるという意見(9件)
従来どおりとすることにより、聴講や議論がしやすくなるという意見(16件)
複数分野への分散により、参加者が減少するという意見(2件)

(1) 5-1 で「a) 賛成(セッションの内容に応じて複数部門に分散させる)」と回答した人の意見(12件)

1) 複数分野への分散により他分野と幅広い議論が可能であるという意見(4件)

- ・ 他分野との技術情報の共有ができる。
- ・ 他分野との交流ができる。
- ・ 鉄道工事に関する地盤改良の手法等を検討できる。
- ・ 材料や構造系の力学で幅広くディスカッションできる(メリット)。既に施工は第6部門に発表されているが問題が無い、分散させてもなんらおかしくはない。

2) 複数分野への分散により聴講や議論が難しくなるという意見(7件)

- ・ 密接に関係する発表が、分けられてしまい議論が難しくなる。
- ・ レベルの違いがある、鉄道技術、特に保線の部門分けが難しい。
- ・ 運転規制等、鉄道特有のテーマが分散しまとめて聴講できなくなる。
- ・ 科研費申請の専門選択が変更？
- ・ 軌道は一般化が難しいかもしれない。
- ・ 例えば耐震関係の分野では他業界の発表が圧倒的に多く、鉄道分野の発表が浮いたものになってしまうかもしれません。
- ・ 一時的には混乱するが本質的な問題はない。会場があまり離れないように配慮は必要

3) 参加者が減少するという意見(1件)

- ・ 参加者(特に現場)が減る。⇒とりあえず各部門(1, 3, 5)に鉄道関係セッションを作る。

(2) 5-1 で「b) 賛成(鉄道工学を構成する全セッションをまとめて他部門へ移動)」と回答した人の意見(2件)

- 1) 複数分野への分散により他分野と幅広い議論が可能であるという意見 (2 件)
 - ・ 鉄道分野以外の人に参加してもらえる、興味をもってもらえる機会となり活発な議論が期待できる。
 - ・ 施工が多いので役に立つ(他部門に)

- (3) 5-1 で「c) 反対(従来どおり第4部門に「鉄道工学」として残す)」と回答した人の意見(8 件)
 - 1) 従来どおりとすることにより、聴講や議論がしやすくなるという意見 (6 件)
 - ・ 専門的なので他のセッションに含めるべきではない。また、同じ教室で関係発表を聴講できる。
 - ・ IV部門が計画分野と決め付けずに交通分野も扱う総合的部門とみなすだけでよいのではないか？
 - ・ メリットは従来通りで分かりやすいから。
 - ・ 手間がかからない
 - ・ 従来通り鉄道を専門とする会員同士が混乱せずに活発に議論できる
 - ・ 鉄道工学は狭い分野なので色々な鉄道関係者が意見交換できるようまとめてセッションが望ましい
 - 2) 従来どおりとすることにより他分野と幅広い議論ができないという意見 (2 件)
 - ・ デメリット: 鉄道以外の専門家の客観的意見を集めにくい可能性がある。
 - ・ 鉄道関係者以外の意見を頂く機会が少ない。

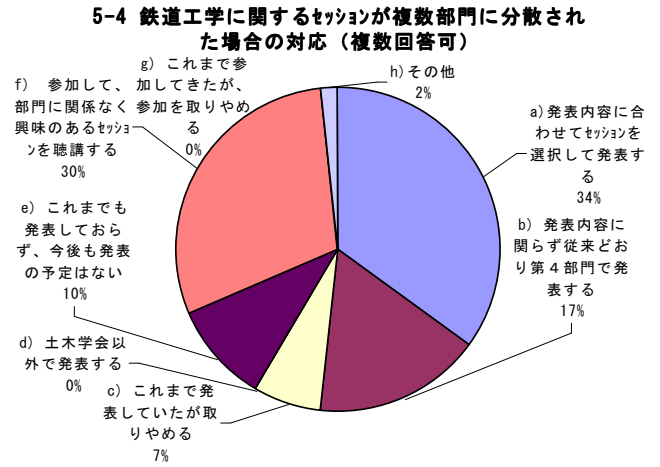
- (4) 5-1 で「d) 反対(ただし「鉄道工学」の名称を変更してもよい)」と回答した人の意見(2 件)
 - 1) 複数分野への分散により聴講や議論が難しくなるという意見 (1 件)
 - ・ 他のセッションに分散されると統一性を欠く。また、参加者の減少になるのでは？
 - 2) その他 (1 件)
 - ・ 新幹線技術が外国に売れるようになったときに分割

- (5) その他(5 件)
 - 1) 従来どおりとすることにより、聴講や議論がしやすくなるという意見 (3 件)
 - ・ 他部門の意見を取り入れるべき内容と、そうでない内容がある(補修工等)
 - ・ 関連テーマについて集中して聴講が可能である。
 - ・ 現場社員のレベルでは他部門で太刀打ちできないのでは？
 - 2) 複数分野への分散により他分野と幅広い議論が可能であるという意見 (1 件)
 - ・ メリットは鉄道工学以外の内容も聞ける。
 - 3) 参加者が減少するという意見 (1 件)
 - ・ 鉄道という分野が分かりづらくなる。件数が減少してしまう恐れがある。

5-4 鉄道工学に関するセッションが複数部門に分散された場合、あなたは鉄道工学に関する今後の全国大会での発表及び参加をどのようにされますか。現時点で考える対応方法に○を付けてください。(複数回答可)
(有効回答人数：83)

- a) 発表内容に合わせてセッションを選択して発表する (21)
- b) 発表内容に関らず従来どおり第4部門で発表する (10)
- c) これまで発表していたが取りやめる (4)
- d) 土木学会以外で発表する (0)
- e) これまでも発表しておらず、今後も発表の予定はない (6)
- f) 参加して、部門に関係なく興味のあるセッションを聴講する (18)
- g) これまで参加してきたが、参加を取りやめる (0)
- h) その他 (1)

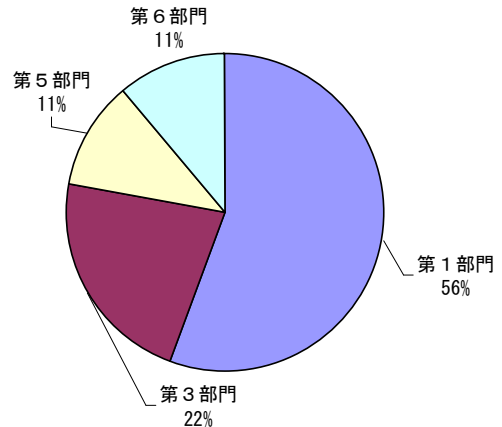
34%が「発表内容に合わせてセッションを選択して発表する」、30%が「参加して部門に関係なく興味のあるセッションを聴講する」となっている。



a)の選択するセッション

- a) 第1部門 (5)
- b) 第3部門 (2)
- c) 第5部門 (1)
- d) 第6部門 (1)

a)の選択するセッション (複数回答可)



5-5 設問5-4で回答した理由を記入ください。

有効回答数20件の主な内容は、分類すると下記のとおりである。
 (1) 複数分野への分散により、発表や聴講が難しくなるという意見(3件)
 (2) 部門に関係なく興味のあるセッションで発表や聴講するという意見(15件)
 (3) その他(2件)

- (1) 複数分野への分散により、発表や聴講が難しくなるという意見(3件)
 - ・ 他のセッションでは特異な発表になると思う。
 - ・ 鉄道の話を集散的に聴講できなくなる。
 - ・ 関連テーマの聴講ができなくなる為
 - ・ 分散すると議論が希薄になることは必至
- (2) 部門に関係なく興味のあるセッションで発表や聴講するという意見(15件)
 - ・ 土木学会の全国大会は他会社の取り組んでいること、技術を知る為の良い機会である為。
 - ・ 防災は鉄道が先行しており、世の中に広く展開する必要があるから。
 - ・ 既に第1部門が主戦場だから。
 - ・ 内容に合致するセッションで幅広い意見を聞きたいため。
 - ・ 鉄道工学以外で最もテーマに近いセッションの方が適切な議論が出来るようになるため。
 - ・ 会場の設定によるが部門ごとの会場が近ければ興味に応じて必要なものを聴講できる。
 - ・ 土木学会の意図を汲み取り今後も発表していきたい。
 - ・ 内容が最も類似しているのが第1部門である。

- ・ 複数の工学で成り立つ分野であるので、関連の強い分野を聴講する。
 - ・ 鉄道工学をオープンにするために必要
 - ・ 部門に関係なく興味のあるセッションを聴講
 - ・ 部門に関係なく興味のあるセッションを聴講
 - ・ 鉄道技術に関する議論をするため
 - ・ 参加は続けたいから
 - ・ 該当セッションを選択する
- (3) その他(2件)
- ・ 鉄道分野の専門ではない。
 - ・ 現行の鉄道関係セッションも議論が活発でなく面白くない。

6. その他

第4部門におけるセッション「鉄道工学」のあり方についてご意見があればご記入ください

有効回答数 18 件の主な内容は、分類すると下記のとおりである。

- (1) 分散せずに現行どおりが良いという意見(7件)
- (2) 内容に応じて分散させるべきという意見(3件)
- (3) 発表内容の質の向上を図る必要があるという意見(3件)
- (4) その他(5件)

- (1) 分散せずに現行どおりが良いという意見(7件)
- ・ 現行通り進めてもらった方が、鉄道関係者で学会で議論出来てうれしい。
 - ・ このままでよい
 - ・ 学術的かどうかはともかく、年に一度同業者が顔をあわせる部門として、居心地のいいセッションだと思う。また若手が「鉄道なら」と発表に踏み切りやすいのも良いと思う
 - ・ このままで良いと思う。
 - ・ 現状通りでお願いしたい。
 - ・ 第4部門にはこだわらないが、全セッションをまとめて他部門へ移動するなら問題無いと思う。
 - ・ 部門は問わないので鉄道工学に関するセッションがあることが重要であるとする
- (2) 内容に応じて分散させるべきという意見(3件)
- ・ 鉄道業界で固まるのではなく技術的な連携をとり得る他分野との連合を目指すべきと思う。
 - ・ 軌道等独自のものはそのままが良いように思いますが、他分野の内部に入れられるものは入れてもらう方が良いでしょう(部外者の意見で申し訳ありません)
 - ・ 力学系は第3部門と第5部門に分散・統合させるべき(鉄道計画を除き、鉄道工学は計画系ではない、今までがおかしい)
- (3) 発表内容の質の向上を図る必要があるという意見(3件)
- ・ 研究的要素の低い発表が見られる為、学会としてふさわしくない状態になっている。ある程度の審査が必要と思われる。
 - ・ 各社で品質改善に努力するので、是非存続を。
 - ・ 発表件数が多い為、各社で発表件数の目安を設定し、調整してみてはどうか？
- (4) その他(5件)
- ・ 全国大会はあくまでも学術会議として位置づけすべきで学会発表は J-Rail(鉄道技術連合シンポジウム)を基本として考えたほうが良い。J-Railを全国支部で持ち回りにできないか？
 - ・ 若手の育成の為にこのような機会を作り、発表させること、他会社の技術を学ぶことは非常に重要だと思えます。継続を希望します。
 - ・ 鉄道工学は大きくなりすぎてしまった。
 - ・ 多くの参加者(発表者)があるので、いいことだと思う。
 - ・ より広い多くの人にセッション参加が出来るように工夫して欲しい。